

第25回「芭蕉の道を辿り 往時を偲ぶ集い」 令和5年9月30(土)

一紅蓮禅尼供養・芭蕉330回忌と島巡り観月灯籠流し一

2023



左:松島の芭蕉宿・熱田屋久之助

中央:五大堂の不動明王 右:仁王島の名月



紅蓮禅尼の命日・嘉暦四年(1329)八月十三夜の命日に因み、故人の冥福を祈願します。俳諧吟行にチャレンジしながら、伝統の灯籠流しを体験する「おもてなし研修事業」です。



— 観瀾亭からみる松島灯籠流し — 「陸奥国名所絵図、佐久間晴岳画」(仙台市博物館所蔵)



観瀾亭・月見崎の金波



瑞巖寺総門に昇る中秋の名月雄島



渡月橋の金波



平成28年「観光王国みやぎおもてなし大賞授賞式」宮城県庁にて



平成30年度「俳句入賞者」船内表彰式

第25回「芭蕉の道を辿り、往時を偲ぶ集い」

別紙詳細

— 紅蓮禅尼供養 と 芭蕉330回忌 の「島巡り観月灯籠流し」 —

開催日：令和5年9月30日(土) (陰暦八月十六夜) □ 募集定員 80名 □ 研修費：5,000円

集 合：JR 松島海岸駅 14:00 — 松島三大橋巡りと芭蕉路 — 解 散：松島中央観光棧橋 19:30

2000年から『おくの細道』や郷土資料を基に、「芭蕉の道を辿り、往時を偲ぶ集い」を毎年継続し、“月松島の歴史文化”を継続発信しています。2014年より「紅蓮禅尼供養・島巡り観月灯籠流し」を加えました。お蔭様で2017年度、宮城県の「観光王国みやぎおもてなし大賞」の名誉に預かりました。今後ともご理解・ご協力を心からお願い申し上げます。

開催目的：松島観光のリピーター創造を図るボランティア養成の現地研修事業です。

研修内容：政宗、芭蕉、アインシュタインなど、著名な人物から称えられた「月まつしまの風雅」を松島湾内の船上から楽しめます。渡月橋の「雄島が磯」、五大堂明王の「虹渡橋」、弁天堂の福浦橋の三大橋を巡り、芭蕉路を散策して吟行体験(Ret's 俳句ING)をします。【俳句入門講座・天麟院】円通院前「軒端の梅」では、紅蓮禅尼の墓参りを行い、遊覧船の洋上から月の出と波瀾に浮かぶ伝統の灯籠流しを満喫します。船内懇親会では吟行入選者の発表で盛り上がります。

松島灯籠流しの由来：奈良天平年間(729-47)に中国から伝えられたものを瑞巖寺が円福寺と称した頃に松島に伝わったもの。長い間途絶えていたが、瑞巖寺 110 世・曹源祖水が文化八年(1811)頃から 108 個の灯籠を経ヶ島付近より流して再興されたと伝わります。『仙台事物起源考』(菊池勝之助著)参照

都ひとつに古くから詠まれた松島は、日本作庭史上の浄土庭園(寂光浄土)として慕われ、平泉・毛越寺、京都・桂離宮、醍醐寺(いずれも世界遺産登録)と並ぶ国・特別名勝です。本年は「扶桑第一の松島」と絶賛した芭蕉の330回忌(元禄7年10月12日)を迎えます。

■名月に関わる松島の歴史・文化紹介

- 三 月 十五夜 … 徳治二年(1307)、頼賢の碑【国重要文化財】建立の日
- 七 月 十六夜 … 瑞巖寺の御施餓鬼「松島灯籠流し」と念仏踊り
- 八 月 十三夜 … 嘉暦四年(1329)心月庵紅蓮禅尼の命日
- 八 月 十五夜 … 慶長9年(1604)、伊達政宗瑞巖寺の縄張り、仙台藩(全国諸藩)月見行事
- 九 月 十三夜 … 仙台藩(全国諸藩)月見行事
- 十二月 十五夜 … 慶長9年(1604)、五大堂【国指定重要文化財】落成の日

主 催 おくの細道松島海道 (郷土史ボランティア) 代表 京野 英一
後 援 宮城県 教育 庁、松 島 町、一般社団法人松島観光協会、みやぎ街道交流会、
仙台郷土研究会、仙台農業協同組合松島支店、松島ヨットハーバー運営委員会。

協 賛 株式会社紅蓮屋、松島島巡り観光船企業組合、株式会社むとう屋、有限会社割烹中央、瑞巖寺、円通院、洗心庵、
天麟院、伊達政宗歴史館、松島ロータリークラブ、仙台農業協同組合松島支店、株式会社松島蒲鉾本舗、
ホテル大松荘、ホテル絶景の館、たいかん亭、好風館小松亭、元湯 海風土、二八屋食堂、さんとり茶屋、
千歳印刷(株)他